

施策分析シート（令和8年度）

No1

施策名	資源循環型社会の形成	施策No	07-02	部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課
関連部課名	総務部経理課	課長名	笠原	内線	448
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市		
	政策	07	地球環境を守るまちの実現		

目的	区民・事業者・区がそれぞれの立場で協力し、ごみの減量や資源回収量の拡大など、地域に深く根差した3R「発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）・再資源化（リサイクル）」活動を進め、質の高い循環型社会の実現を目指す。				
----	---	--	--	--	--

指	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
			5年度	6年度	7年度			
	①	持続可能性	3.42	3.37	3.41	あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？		
	②							
	③							
④								
標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			5年度	6年度	7年度	8年度見込み		目標値(8年度)
	①	区民1人1日当たりの総排出量(㌔)	741	719	691	673	673	総排出量＝総ごみ量＋資源回収量
	②	区民1人1日当たりの総ごみ量(㌔)	625	606	572	568	568	総ごみ量＝区収集ごみ量（可燃・不燃・粗大ごみ）＋持込ごみ量
	③							
	④							
	⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目		6年度	7年度	差額	行政収入	勘定科目		6年度	7年度	差額
行政費用	給与関係費		117,743	142,922	25,179	行政収入	地方税等		0	0	0
	物件費		261,643	476,696	215,053		国庫支出金		0	0	0
	維持補修費		895	327	▲ 568		都支出金		12,803	86,235	73,432
	扶助費		0	0	0		分担金及び負担金		0	0	0
	補助費等		289,573	346,741	57,168		使用料及び手数料		1,712	2,199	487
	減価償却費		37,075	37,075	0		その他		69,934	69,184	▲ 750
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0		行政収入合計(a)		84,449	157,618	73,169
	賞与・退職給与引当金繰入額		10,805	29,659	18,854		行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 633,285	▲ 875,802	▲ 242,517
	その他行政費用		0	0	0		金融収支差額(d)		▲ 268	▲ 231	37
	行政費用合計(b)		717,734	1,033,420	315,686		通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 633,553	▲ 876,033	▲ 242,480
貸借対照表	特別費用(g)		0	0	0	貸借対照表	特別収入(f)		0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0		当期収支差額(e)+(h)		▲ 633,553	▲ 876,033	▲ 242,480
貸借対照表	勘定科目		6年度	7年度	差額	流動負債	勘定科目		6年度	7年度	差額
流動資産	収入未済		0	0	0	流動負債	還付未済金		42,649	43,852	1,203
	不納欠損引当金		0	0	0		特別区債		0	0	0
	その他の流動資産		0	0	0		賞与引当金		36,329	36,366	37
	有形固定資産		747,732	710,657	▲ 37,075		その他の流動負債		6,320	7,486	1,166
	土地		200,429	200,429	0		固定負債		0	0	0
	建物		788,466	788,466	0		特別区債		315,121	303,727	▲ 11,394
	建物減価償却累計額		▲ 292,074	▲ 327,184	▲ 35,110		退職給与引当金		204,147	167,781	▲ 36,366
	工作物等		67,616	67,616	0		その他の固定負債		110,974	135,946	24,972
	工作物等減価償却累計額		▲ 16,704	▲ 18,670	▲ 1,966		負債の部合計		0	0	0
	無形固定資産		0	0	0		正味財産		357,770	347,579	▲ 10,191
固定資産	建設仮勘定		0	0	0	正味財産	正味財産の部合計		389,962	363,078	▲ 26,884
	その他の固定資産		0	0	0		負債及び正味財産の部合計		389,962	363,078	▲ 26,884
資産の部合計			747,732	710,657	▲ 37,075	負債及び正味財産の部合計			747,732	710,657	▲ 37,075

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用のうち、物件費はリサイクルセンターにおける資源の中間処理費用やプラスチック回収に係る経費が多くを占めている。
- 行政収入のうち、都支出金はプラスチック回収事業及び食品ロス削減事業、集団回収支援事業に係る補助金であり、使用料及び手数料は一般廃棄物処理業の許可手数料が多くを占めている。その他は資源回収事業における売払代金及びリサイクルセンターにおける光熱水費の受入れである。
- 貸借対照表の土地は各リサイクルハウス、建物はリサイクルセンターと各リサイクルハウスを示している。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○総ごみ量全体については、減少傾向で推移している。可燃ごみ・不燃ごみ・持込ごみは減少傾向にあり、粗大ごみはほぼ横ばいとなっている。 ○家庭から排出される可燃ごみの組成状況（令和7年度組成調査）は厨芥類ごみ（生ごみ）が23%を占めている一方、資源として回収できる紙類が18%含まれている。また、不燃ごみでは、資源回収品目となっているびん類や缶類等が9%含まれている。 ○区は、町会・自治会による地域活動が活発に行われており、この地域特性を生かして、全国に先駆けて集団回収による資源回収システム「あらかわ方式」を確立する等、リサイクル先進自治体としての取組を行ってきた。 ○さらに古布や廃食油、プラスチック製衣装ケース等、これまで廃棄されてきたものを新たに資源化する等、ごみの減量に取り組んでいる。 ○令和4年3月から、可燃ごみとして廃棄されてきたプラスチック類を分別回収しリサイクルする取組（プラスチック回収）を区内一部地域で試行的に開始し、令和7年10月から区内全域で実施している。 ○令和5年3月に「荒川区一般廃棄物処理基本計画（令和5（2023）年度～令和14年（2032）年度）」を策定した。
課題	○今後、更なる総ごみ量の削減に向け、3Rの中でも特に効果の高いごみの発生抑制（リデュース）に積極的に取り組む必要がある。 ○家庭から排出される可燃ごみの多くを占める厨芥ごみについて、食べ残しや手つかずの食品（食品ロス）を削減する取組を推進するとともに、資源であるにも関わらずごみとして誤認されやすい雑がみについて、周知啓発を進める必要がある。 ○集団回収事業の安定的な実施のため、若い世代への環境意識の醸成等が必要である。 ○更なるごみの減量に向け、これまでの取組み以外にも新たな方策について検討していく必要がある。 ○プラスチック類の分別方法や禁忌品の適正な排出等について、区民への丁寧な周知・啓発を行う必要がある。 ○「荒川区一般廃棄物処理基本計画（令和5（2023）年度～令和14年（2032）年度）」に基づく施策等の進捗管理を行っていく必要がある。
今後の方向性	○区民や事業者がごみを可能な限り発生させない生活習慣を定着させるため、ごみの発生抑制対策について、区報やホームページでの周知に加え、出前講座やイベントへのブース出展などの普及啓発活動を重点的に行う。 ○食品ロス削減のための幼少期から意識付けや、雑がみのリサイクルについて効果的な周知を行うとともに、家庭でのごみ減量のための発生抑制（リデュース）や再使用（リユース）の取組を一層推進する。 ○若い世代の集団回収等の担い手を育成するために、子どもの頃からの環境教育を一層推進するとともに、「あらかわりサイクルセンター」を普及啓発や人材育成の拠点施設として積極的に活用していく。 ○新たなリサイクル技術の活用等により、リサイクル品目を拡大するとともに、区民がよりリサイクルに取り組みやすくなるよう環境を整えていく。 ○プラスチック回収を区内全域で継続して実施し、区民に適正排出が定着するよう、分別方法や効果の周知を推進する。 ○「荒川区一般廃棄物処理基本計画（令和5（2023）年度～令和14年（2032）年度）」に掲げた目標の達成に向けて施策等を展開する。

施策の分類		分類についての説明・意見等
8年度	9年度	
重点的に推進	重点的に推進	区民、事業者と行政が一体となり、3Rの視点に立った、循環型社会の実現を目指す施策を重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
庁舎等資源再利用推進事業	03-01-08	7,671	8,081	7,159	7,472	推進	推進	地球環境に配慮した資源の分別・収集を行い、資源の節約やごみの減量を行う事業であるため、推進する。
一般廃棄物処理業等許可事務事業	07-02-01	2,872	3,320	4	18	継続	継続	一般廃棄物処理業者の資質向上による区民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るとともにコンプライアンスの徹底を図る必要がある事業のため、継続して実施する。
リサイクル実践活動事業	07-02-02	2,390	2,751	—	—	継続	継続	区民のリサイクル実践活動がさらに地域に根付くよう引き続き場の提供、支援を継続して実施する。
普及啓発事業	07-02-03	17,216	15,296	2,495	990	推進	推進	ごみ減量等を図るため、清掃・リサイクルに関する区民・事業者への啓発・周知を推進する。
食品ロス削減事業	07-02-04	13,649	16,155	2,657	2,950	重点的に推進	重点的に推進	食品ロス削減の啓発を通し、ごみ減量等に向けた区民の意識醸成を図る重要な事業であるため、重点的に推進する。
集団回収支援事業	07-02-05	361,378	442,552	313,738	368,988	重点的に推進	重点的に推進	地域力の高さと地場産業の強みを活かした集団回収を支援し、ごみ減量とリサイクルに対する区民意識の啓発を図る重要な事業であるため、重点的に推進する。
資源回収事業（行政回収分）	07-02-06	8,866	9,314	6,476	6,563	継続	継続	集団回収支援事業との一体的な実施により資源化を行う事業であるため、継続して実施する。
プラスチック回収事業	07-02-07	108,488	337,442	90,208	306,605	重点的に推進	重点的に推進	プラスチック回収の推進により、ごみ減量・温室効果ガスの削減・資源循環が促進されるため、重点的に推進する。
生ごみ処理機等購入助成事業	07-02-08	8,042	8,828	1,351	1,675	推進	推進	可燃ごみに占める割合が多い生ごみの減量に係る区民の取組を支援し、排出抑制の行動変容を促すため、推進する。
リサイクルセンター管理費	07-02-09	74,706	70,677	34,222	29,585	継続	継続	循環型社会の構築を目指すため、「Rの充実を推進する拠点」としてのリサイクルセンターの役割を継続して実施する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
リサイクルセンター事業費	07-02-10	102,835	108,623	98,275	103,375	重点的 に推進	重点的 に推進	循環型社会の構築を目指すため、「Rの充実を推進する拠点」としてのリサイクルセンターの役割は重要であるため重点的に推進する。
資源回収事業（事業者回収分）	07-02-11	11,620	10,380	6,840	7,078	継続	継続	事業系ごみを削減するため、資源回収を継続して実施する。
合 計		719,733	1,033,419	563,425	835,299			